

代名詞 <ページ1>

【代名詞】とは？

私は中学生です。

例えば、(・▽・)

この「私」という語は、例えば「たなか いちろう」という人の名前の【代わり】に使われる語です。

このような語は他にも「あなた」「彼」「彼女」「彼ら」「それ」…など。

全て、【名前(名詞)の代わり】に使われる語ですね。



この、「名前(名詞)の代わり」に使われる語のことを、**【代名詞】**と呼びます。

「私」「あなた」「彼」「彼女」「彼ら」「それ」…など、日本語の中にも代名詞はあるし、

英語の中にも、代名詞と呼ばれる単語があります。

(^▽^)< 英語の中の【代名詞】について、このプリントでは学習していくよ！

◆まずは、自分。

自分にとっての「**1 人目の人間**」は、σ(^▽^) 自分。

自分のことを指す代名詞は、日本語だと「私」「俺」「僕」「うち」「あたし」「おいら」「小生(しょうせい)」

などなど、たくさんありますが、英語だと、この 4 種類。

I	my	me	mine
↓	↓	↓	↓
私は(私が)	私の	私を、私に	私のもの

★日本語との違い、気づいたかな？

日本語だと、「私」という 1 つの語に、「は」「が」「の」「を」「に」「のもの」と異なった語を付けて違いを表すけど、

英語は、「私は」「俺は」「僕は」「あたしは」「おいらは」などは全て I σ(^▽^) なのです！



つまり、「私」「俺」「僕」「うち」「あたし」「おいら」…という区別が、英語には無いということ！

男性でも女性でも、大人でも子どもでも、「自分は(自分が)」と言いたい時は誰でも I を使うのです。

同じように、

・私の(俺の、僕の、あたしの、おいらの…) = my

・私を(俺を、僕を、あたしを、おいらを…)、私に(俺に、僕に、あたしに、おいらに…) = me

・私のもの(俺のもの、僕のもの、あたしのもの、おいらのもの…) = mine

と、なります。

σ(^▽^)< この「自分を表す語」を、文法用語で **《一人称(いちにんしょう)》** と呼ぶよ！

初めに書いたとおり、自分にとっての「**1 人目の人間**」は σ(^▽^) 自分 だから、

一人称 と呼ばれるのです。(でも「ひとりしょう」じゃないよ！「いちにんしょう」ね♪)

【ミニ練習問題】 英語の代名詞に直しなさい。

俺の() ぼくを() あたしは() おいどんのもの()